

テルアビブの全ては救われる

2013年3月1日 アシェル・イントレータ

もうすぐで成長と繁殖の季節です。イスラエルでは雨が豊かに降り(ホセア 6:3)、アーモンドの花が咲き乱れています(エレミヤ 1:11)。今年は「希望の持てる年」です(イザヤ 61:2)。

「使徒の働き」において、初期の弟子たちが人数を増やして行った事実を記しています。それはエルサレムにおいて聖霊が注がれたことが発端でした。

使徒の働き 2:41 –三千人ほどが弟子に加えられた。

またそれはその地域における最初の信仰共同体で引き継がれて行きました。

使徒の働き 2:47 -主も毎日救われる人々を仲間に加えてくださった。

病気が癒される奇跡と信仰の迫害の始まる中、多くの人が加えられました。

使徒の働き 4:4 –しかし、みことばを聞いた人々がだぜい信じ、男の数が五千人ほどになった。

アナニアとサツピラが裁かれた後も更に増えていきました。

使徒の働き 5:14 –主を信じる者は男も女もますますふえていった。

またギリシャ語を話すユダヤ人の中にも、信者は増えていきました。

使徒の働き 6:1 -そのころ、弟子たちがふえるにつれて、

行政面また財務面の新しい統制の中、神殿の超正統派ユダヤ教徒をも含め信者数は倍増していきました。

使徒の働き 6:7 –エルサレムで、弟子の数が非常にふえて行った。そして、多くの祭司たちが次々に信仰に入った。

リバイバル(信仰再生)は北のサマリヤ地方へ拡大してゆき、

使徒の働き 8:14 –サマリヤの人々が神のことばを受け入れた。

シャウル(パウロ)が信仰を持った後には、国家的な割合の人数となってきました(「全地」という言葉に注目)。

使徒の働き 9:31 –教会は、ユダヤ、ガリラヤ、サマリヤの全地にわたり... 信者の数がふえて行った。

現在広い意味でのテルアビブ地方は、ヨツパ(ジャッファ)、ルダ(ロッド)、サロン(シャロン)を含みません。歴史上最大数のユダヤ人が一箇所に住み、それがこの地区の中に含まれるのです。2000年前、この地全体が主に立ち返ったのです。(もう一度、「全地」という言葉に注目)。

使徒の働き 9:35 –ルダとサロンに住む人々はみな、...主に立ち返った。

使徒の働き 9:42 –このことがヨツパ中に知れ渡り、多くの人々が主を信じた。

ハレルヤ。テルアビブの全て(ヨツパ、ルダ、サロン)にリバイバルが起こり、そこからヨーロッパ、アジア、アフリカへと広がっていったのです。その成長はアンテオケ(使徒の働き 13:44)、イコニオム(14:1)、ルステラ(16:5)、テサロニケ(17:4)、ベレヤ(17:12)、アテネ(17:34)、小アジアの全て(19:10)、エペソ(19:18)、エルサレムの幾万(21:20)、マルタ(28:9)、そしてローマ(28:30)で継続していきました。

信じるものたちが倍増していったという、これらの使徒の働きの御言葉から皆様がかづけられますように。イスラエルの全てが救われ(ローマ 11:26)、テルアビブの全てが救われるのです(使徒の働き 9:35)。もしその時起こったのであれば、今も起こる可能性があります。もしそれがイスラエルで起こったのならば、あなたの国で起こる可能性があります。

ティフェレット・イエシュアの変遷

アリ&シーラ・ソルコラム

アシェルとは長い付き合いで、ミニストリーにおけるパートナーでもあります。何年も前、彼はティフェレット・イエシュア(=イエス様のヘブライ語)のリーダーの一人で、その後、送り出され、エルサレムで姉妹コングリゲーションであるアハヴァット・イエシュアを立ち上げました。

彼はこの度ティフェレット・イエシュア・コングリゲーションを導き、イスラエル生まれの若いリーダーたちがコングリゲーションの全面的な指導者となるよう指導するため、戻ってくることを快諾してくれ、とても嬉しく思います。彼の元でロン・カンターもこれら若いリーダーたちに導きを与えるべく、働きに参加します。

このことにとっても感動しています。アシェルとベティ、ロンとエラナのことを、神さまに感謝し、彼らの家族が祝福されるよう、また彼らを通してティフェレット・イエシュアが祝福されるように祈ります。[注：アシェルがこの変化の時にあって、奉仕に、またアハヴァット・イエシュア、ティフェレット・イエシュア、リバイブ・イスラエルの奉仕、および見守っていく中で、格別の恵みを与えられるようお祈りください。]

イスラエル政府

イスラエル新政権形成のため、まだ、緊急に祈りが必要です。今のところ、連立の試みは行き詰まっています。ネタニヤフは、労働党や超正統派をも含む連立構成政党の幅広さを望んでいることを表明しています。国内のメシアニック信者は、社会正義や兵役の平等、宗教の多元性を推し進めるであろうラピッド氏とベネット氏の政党が、参加することに好意を示しているように思われます。

現在危機的問題となっていることの殆どは、個人的な野心や政治的優位性をひけらかすことに終始していることなのです。イスラエル政界におけるブレイクスルーの機会なのですが、時間が足りません。ネタニヤフは3月16日まで2週間の1回のみ行使できる期限延長を申し込むことが出来ませんが、それは、3月20日にオバマ大統領が来訪するまで、ほんの数日間しかありません。

エステル断食

アヴィハイ・O とオリエル・M

今年のエステル断食は言葉に言い尽くせない程の祝福でした。イスラエルと教会、国々、そして私たちのアラブの隣人たちの間に存在するギャップの上につつべく、12時間におよぶ、邪魔されることのない集中した礼拝、執りなしと断食の時を持つため集まりました。

私たちは、エステル書について、また神さまが如何にへりくだった者を祝福され、傲慢な者を否まれるかということについて、預言的な洞察が与えられました。このひと時は、メシアのからだとして1つとなることに集中したワーシップと、共に1つとなるため甘い香りの油注ぎである聖餐式で幕を閉じました。私たちの祈りの部屋には、9つのCongregationからおよそ130人の現地信者の参加がありました。

またインターネットのライブ・ストリームには、8つの国から個人や祈り会、Congregationによる1048件の参加がありました。反応はとても盛況でした。ほとんどの方がヘブライ語による祈り、賛美、預言の流れは理解していない事実にも関わらず、多くの方が、イスラエル現地の信者による本物の何かに参加できることが、どれほど意義あるものかということをお話しています。

メシアニックの新曲

ユダ & ジェニファー・モリソンはイスラエルにおける次世代のワーシップリーダーです。この若いカップルが作り、演奏するヘブライ語のオリジナルワーシップソングをフィーチャーした彼らの新しいアルバム Let Us Return「我々を帰還させよ」が発売されました。彼らのワーシップソングは過去 10 年間、イスラエル全国の様々なコングリゲーションで歌われています。今、皆様も聖霊様がこの聖地でワーシップを通じてなさっていることを体験できるようになりました。

Let Us Return は、こちらを通じて購入・ダウンロードできます。

iTunes

<https://itunes.apple.com/us/album/bw-w-wnswb-let-us-return/id553007684>

または

CD Baby

<http://www.cdbaby.com/cd/judahjennife>